

何故まずい粗飼料は選び食いするのに釘は食べてしまうのだろうか？

乳牛は選び食いが得意である。TMRの中の細かい配合類を選び好んで食べたり、まずい粗飼料を残したりする。それだけ口の中や舌の機能がすばらしいと思える。牛タンがおいしいはずである。しかしそれほど選び食いをする上手な舌であるが、釘や金属片は食べてしまう。創傷性第2胃炎や、創傷性心囊炎の始まりである。

まずい粗飼料は残し、栄養にならない金属片は食べる。これはなぜだろうか？牛に聞いてみたい所である。急いで食べるためであろうか？もっとゆっくりと咬んで食べれば問題がないかもしれない。そして急いで牛に食べるように仕向けているのは人かもしれない。

すべての牛が食べられる様に十分な量がある事、食べたいタイミングで給与される事、みんなと一緒に食べられる事などが必要であろう。固め食いがないようにしたい所である。牛の採食はバイキング形式である事を思い、自分の身になって考える事が必要である。いつもお皿に少ししかないようなバイキングレストランは行きたくはない。



粗飼料ばかりが残っている飼槽。
原因は粗飼料の切断長である。



給与直後の飼槽の飼料と残飼の比較。
粗飼料を多く残しているのが問題。
原因は粗飼料の切断長である。